



あいち朝日遺跡ミュージアムの今を伝える情報誌【季刊誌】

朝日遺跡だより

朝日遺跡マスコットキャラクター
「アカ」と「クロ」

2026年6月

vol. 21

企画展

一宮市萩原遺跡群



シリーズ／発掘ファイルNo.5「日本最古のヤナ」
ミュージアム再発見「合子」
ミュージアムの草花お花実ガイド／7～9月
弥生ムラづくりプロジェクトレポート
／「田起こし体験」他

学芸員がお答えするQ&Aコーナー

／土器の表面が黒くスス焦げたようになっているのはなぜですか？

ミュージアムグッズ紹介／オリジナルノート

弥生ムラぐらし進行中／「タデアイの発芽」他

期間 2026年4月25日(土)～6月21日(日) **場所** あいち朝日遺跡ミュージアム本館・企画展示室

一宮市の日光川水系に形成された自然堤防上には、多くの弥生時代の遺跡が存在し、総称して萩原遺跡群と呼ばれています。その中でも八王子遺跡・山中遺跡では、特に弥生時代後期から古墳時代初盛を誇ったことが、一宮市及び愛知県埋蔵文化財センター発掘調査で分かっています。

本企画展では、両遺跡の出土資料を中心とした萩原遺跡群の資料を展示するとともに、同時期の朝日遺跡の出土資料と比較することで、地域ごとの特徴を見ていきました。さらに、発掘調査で確認された洪水の痕跡や、近年明らかになってきた気候変動といった環境要因にも目を向け、こうした変化が尾張平野の社会や暮らしにどのような影響を与えたのかを考えました。

- 1 一宮市及び愛知県埋蔵文化財センターが調査した、萩原遺跡群の弥生時代から古墳時代初頭までの資料を展示しました。
- 2 愛知県内で発掘調査中に出土した希少な事例として、八王子遺跡の銅鐸（一宮市指定文化財）と朝日遺跡の銅鐸（重要文化財）を、出土状況を再現したレプリカとともに展示しました。
- 3 愛知県内でもあまり例のない井泉（水辺の祭祀を行った跡）と関連する資料を展示しました。



展示作業を振り返って

企画展の開催にあたっては、展示資料の構成や配置、どの部分を見せるかなど多くの検討が必要になります。今回の展示の目玉は、八王子銅鐸と朝日銅鐸、そしてそれぞれの出土状況レプリカ（4点の展示品）でした。県内で発掘調査により出土した銅鐸は極めて少なく、この2例をどう比較しやすく見せるかが大きな課題でした。

出土状況レプリカは大型で、八王子遺跡のものはガラスも台もないため壁面ケース内に展示する必要があり、逆に朝日遺跡のものは台から外すことができません。銅鐸本体を見やすく比較するのであれば、あんどん型の四方から見えるケースにそれぞれ展示し、2台並べて展示するのが望ましいと考えました。しかし、展示室での構成上、両方とも採用することはできませんでした。逆さまに埋納された八王子銅鐸と、横倒しで出土した朝日銅鐸の出土状況の違いを、より来館者に比較してほしいという思いが強かったため、出土状況レプリカ同士を

向かい合わせにすることを優先しました。銅鐸は出土状況レプリカを挟んだ形で展示しました。

また、八王子銅鐸で特に見せたかったのは、紐で吊り下げられていたことを示す紐の摩擦痕でした。そのため展示室入口の最も目立つ位置にケースを置き、三方向からスポットライトを当て、見やすい角度に見方を示すパネルも設置しました。入口付近が通常より明るくなり影も増えましたが、来館者からは「痕跡がよく見える」と好評でした。

展示資料ではありませんが、小さな子どもが楽しめるよう、ケース下部にキャラクターパネルも設置しました。子ども連れの来館者は展示をじっくり見る余裕がないことも多いため、大人は少しでも展示を見る時間を、子どもには「展示室に何か面白いものがある」と感じてもらうことを目指しました。近年は小学校低学年以下の子どもを連れた家族が増え、体験学習や屋外活動、クイズラリーなどで一日過ごす姿も見られます。幼い頃は

「このミュージアムに何か楽しいものがあった」という記憶だけで十分で、後に歴史を学ぶ際に朝日遺跡の価値を再認識してくれればと思っています。

昨年度のハロウィンの時期には、「円窓ハロウィン土器」を展示室含めた敷地内各所に設置し、子どもにも展示室に足を運んでもらう仕掛けを行いました。今年度も企画展を担当しながら、展示室に足を運んでもらうためのちょっとした工夫を試していこうと思っています。

(松本彩)

企画展の解説動画を放映しました



企画展中は当館本館の休憩スペースにて企画展担当者による解説動画を放映しました。

開催予定のイベント

古代体験プログラム

火起こし体験、カラフル勾玉づくりに加え、月替わりで開催の土日祝限定メニューです。(写真は作例)
詳細は公式webサイトをご覧ください

高坏づくり

祭祀のお供え物を盛り付けていたかもしれないと言われる高坏。ベンガラを使って豪華な土器を作りましょう。



【時間】
15:00～(約60分)
【教材費】
450円
各回先着 10名

クスノキの香り袋づくり

石器を使ってクスノキの木を削ってみよう！削った木くずで香り袋を作ります。



【時間】
15:00～(約45分)
【教材費】
100円
各回先着 10名

鹿角で釣針づくり

鹿の角をやすりで削って釣針を作ります。完成した釣針は、アクセサリーにできます。



【時間】
15:00～(約60分)
【教材費】
50円
各回先着 10名



日本最古のヤナ

朝日遺跡からは、弥生時代後期のヤナとみられる施設が発見されています。ヤナは川を遡^{さかのぼ}ってゆく魚を捕るための上りヤナとみられ、弥生時代中期に環濠^{せき}として使われていた溝の中に、2か所の木組みが作られていました。上流側の木組み（堰）で水の流れを調節し、下流側の木組み（簀）との間に閉じ込められた魚をタモなどで捕獲する仕組みとなっています。

堰は、溝に直交して16本の杭が打ち込まれ、それを横木、叉木で支えています。本来は杭列の上流側全体に貼り付けられていただろうと考えられる、薄い割材を編んだ網代も、杭に貼り付いてみつがっています。簀は遡上する魚が、再び下ることを防ぎます。木組みの上にヨシを交差させ重ねて作った簀が取り付けられています。裏面を見ると、6組の割材の束が横方向に編み込まれて、簀を補強しているのがわかります。

朝日遺跡で出土した魚類には、海水魚以外にも、コイ科の魚類など淡水魚も多く、内水面漁労が占める重要性が指摘されています（山崎2019）。ヤナが発見さ

れた溝は、水田の給排水にかかわる機能をもっていたと考えられ、農作業のかたわら、コイやフナを対象とした淡水漁労が営まれていたのかもしれません。弥生時代前期、中期には大規模な貝層が形成されて沿岸性の漁業が営まれていたようですが、後期以降は衰退していたようで、代わりに小規模な水田とこれに付随する淡水漁労へと姿をかえていったのでしょうか。

朝日遺跡でヤナが発見されたときに、日本最古のヤナということで、その出土状況を保存する処置がとられました。現在、保存処理されたヤナは貝殻山貝塚交流館の収蔵庫で保管されています。大型のためなかなか収蔵庫の外に出して展示することは難しいのですが、イベントやバックヤード講座の際には、その状況を公開しています。

また、あいち朝日遺跡ミュージアムの本館が建設されるにあたり、基本展示室1に復元模型が設置されました。復元模型の中のクローズアップ模型・農地での活動の中には、小区画水田が配置され、当

時の水田の作業が復元されています。そのそばに設置された川には、ヤナ遺構を復元するとともに、ヤスで魚をねらう人物や、魚をタモで捕獲する人物を設置し、水路での漁労を示しました。

（松本彩）

〈参考文献〉———
田中禎子1988「愛知県朝日遺跡のヤナ」『季刊考古学』第25号 雄山閣
原田幹2024「朝日遺跡クローズアップ模型」防御施設と戦い・農地での活動」の制作について—あいち朝日遺跡ミュージアム展示制作報告（2）—『あいち朝日遺跡ミュージアム研究紀要』第3号
山崎健2019『農耕開始期の動物考古学』六一書房
山崎健・宮腰健司2005「朝日遺跡出土の魚類依存体」『研究紀要』第6号（財）愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター



ヤナ出土状況
（愛知県埋蔵文化財センター写真提供）



ヤナでの魚とり
（クローズアップ模型・農地での活動より）



改めて知ると朝日遺跡のことがもっと好きになる?!

ミュージアム再発見

あいち朝日遺跡ミュージアムのスタッフが改めてみなさまに見てほしい注目スポットを紹介します。

今回は
ごうす
合子 (蓋・身)

当館の展示の中で注目される赤彩土器のコーナー。どうしても赤と白のコントラストが美しい壺、パレススタイル土器に目が奪われがちですが、手前にあるこの合子もぜひ注目してほしい展示です。合子は大事なものを保管するのに使ったようで、全体がベンガラで朱色に塗られ、蓋表面にはとても細かい文様があしらわれていることがわかります。また蓋をした際に紐で縛るための穴がちょうど良い位置で開いていることも驚きます。この時代、どんな人がこれを所有し(また、これを作った職人が朝日にいたのか) 固く縛ってまで何を保管したのか。とても興味深いです。写真では伝わらないので実物をご覧ください。

(宇井雅俊)



知っておくと便利!
役立つことば

高杯

たかつき

高杯は、椀や皿形の容器に脚がついたもので、食事を盛りつけるための食器です。弥生時代には土器だけでなく木製品もあり、土器は「坏」、木製は「杯」と書き分けることもあります。中国の類似した器は「豆」と呼ばれます。弥生人の風俗を記した『魏志倭人伝』には「食飲用籩豆 手食(飲食には籩豆を用い、手で食べる)」との記述があり、高杯から手づかみで食べていた様子が窺えます。また、食物を盛るだけでなく、儀礼の場で供物を捧げる役割もあり、赤彩や美しい文様で装飾された特別なものも使われていました。



(原田幹)

ミュージアムの草花お花実ガイド

7~9月

あいち朝日遺跡ミュージアムを楽しむなら

季節ごとに移り変わる植栽・草花にも注目して屋外史跡も見よう!



今年も暑い夏の到来は避けられそうにありませんが、園内で少しでも涼しさを感じられるような白い花を探してみました。



7月頃



8月頃



9月頃

セッカニワゼキショウ (雪花庭菖蒲・アヤメ科)

ニワゼキショウに似て花が雪のように白くことが名前の由来です。北アメリカ原産で比較的新しい外来種とされていますが、現在では国内に広く分布しています。園内では、日当たりのよい草地や芝生の中で、紫色のニワゼキショウに混じって花を咲かせています。

シマサルスベリ (島百日紅・ミソハギ科)

鹿児島県の奄美群島などに自生していることが名前の由来です。公園等の植栽等によく用いられますが、サルスベリの花が、赤、ピンク、白など多彩であるのに比し、白色に限られることが異なります。園内では、交流館の南側に1株あり、夏から秋にかけて花を咲かせ続けます。

キカラスウリ (黄鳥瓜・ウリ科)

国内各地に自生する雌雄異株の多年草です。5弁に分かれた花の先端はレース状になり、見応えがありますが、開くのは日没後で、翌日の午前中には閉じてしまいます。園内では、貝層の平面表示の東側の植え込み周辺で、毎年花を咲かせますが、雄株のため果実を見ることはできません。



ミュージアム本館廊下では史跡内で注目してほしい草花を紹介する「お花実ガイド」のコーナーを設けています。今回紹介した草花はごく一部ですので、お花実ガイドを手に散策してみてください。季節の移ろいとともに変わる史跡の彩りをお楽しみいただけます。

YMPレポート



体験水田をとおして、弥生時代を体験する「弥生ムラづくりプロジェクト」。今回は、田起こしや代掻きなど田植えの準備を行いました。

YMP
年間予定

今回はココ

田起こし

今回はココ

代掻き

田植え

いきもの観察会

石包丁づくり

収穫

脱穀

土器づくり

土器炊飯

2026年

5/6



田起こし体験(弥生こどもの日)

「弥生こどもの日」での田起こし体験は終日大盛況!学芸員の解説後、水田の区画ごとに木製農具と鉄製農具で耕作エリアを分けて体験を実施しました。「田起こし」とは、稲を植える前に、田んぼの土を掘り起こし、細かく砕く作業のことです。美味しいお米を育てるために、欠かせない作業です。今後のイベントもお待ちしています。

2026年

4/26

あさひ弥生クラブ



YMPに年間通じて参加する会員を今年度から募集しました。「田んぼはじめの会」では、会員の自己紹介や年間行事の案内、稲の育苗準備を行いました。歴史や田んぼの活動に興味を持つ子どもたちの活躍を、楽しみにしています。

2026年

5/23

「どろんこで代掻き」を実施!



「代掻き」とは、田んぼに水を入れ、土を平らにする作業のことです。竹を使った綱引きや、各自持参した砂場道具を使った泥遊びも大変盛り上がりしました!

弥生ムラづくりプロジェクトではみんなで田起こしから土器炊飯まで弥生時代の稲作体験に取り組んでいます。

おもてなしムラ人が活躍中

おもてなしムラ人 活動まろく

ボランティア「おもてなしムラ人」の活動をご報告します。

2026年

3/28

ボランティア研修



今回の研修は、清須城下町を歩き、講師の説明を聞きながら城下町の広さを体感しました。清須の歴史としてガイド活動にも参考になりそうです。最後は、ゴールの清洲城前で記念撮影。

2026年

4/25

ムラ仕事



春を迎え、体験ムラ人のみなさんと畑を耕しアワ・キビ・ヒエの種まきや環境整備、方形周溝墓の除草、など行いました。

2026年

5/6

弥生こどもの日



イベント弥生こどもの日ではガイドツアーや火起こし体験など日ごろの成果を発揮していただきました。

ボランティア(おもてなしムラ人)に興味がある人はお気軽にスタッフまでお声がけください。

あいち朝日遺跡ミュージアムの取り組み

当館の 様々な 取り組み事例紹介

施設外でのPR活動やキャンペーン等の実績から一部をご紹介します。

2026年

3/21

清須プロギング



朝日遺跡の講座を受けた後、朝日遺跡全体をイメージしてジャンクションを見下ろす遊歩道を歩きながらゴミ拾いをし街の美化活動「プロギング」を行いました。

2026年

3/21

朝日遺跡でYoga体験



清須市のスポーツ施設「カルチバ新川」共催でミュージアムの屋外、芝生の上でヨガを行いました。天気の良い日に開放感のある体験ができました。

2026年

3/29

狩猟中一鹿になって弥生時代を駆けぬけろ!ー



地元、星の宮プロジェクトの皆さんと共催のイベント。多くの参加者で賑わいました。シカ役の子どもたちは弥生人につかまらないように逃げ切れたかな?

上記のほか様々な施設間の連携をおこなっています。当館と施設連携ご希望の方はお気軽にご相談ください。





学芸員がお答えする弥生の Q & A コーナー



日々、ミュージアムでいただく「質問カード」に学芸員が回答し館内で随時掲示しています。その中から「これは!」という質問をピックアップして解説するコーナーです。(皆さんもぜひ当館を観覧して質問カードを書いてくださいね。)

答える人
あいち朝日遺跡
ミュージアム
主任 原田早季子



Q 土器の表面が黒くスス焦げたようになっているのはなぜですか?

A 土器の表面にスス焦げが生じる原因は、大きく分けて2つあります。

1つ目は、土器を焼成する際に生じる「黒斑」と呼ばれるものです。弥生時代には、土器は「野焼き」という方法で焼かれていました。野焼きは焼成が均一にはなれないため、燃料から出た炭素(スス)が土器表面に付着し、燃え切らずに残ることがあります。そのため、土器の表面はまだらに黒くなります。

一方、現在の食器は窯を用いて焼かれます。窯では土器(陶器)を均一に焼成できるため、黒斑は生じません。窯の技術は古墳時代に朝鮮半島から伝わ

たものであり、弥生時代にはまだ存在していなかったため、朝日遺跡の土器には黒斑が見られるのです。

2つ目は、米などの食材を煮炊きする際に、土器の表面に火が当たって黒くなる場合です。これは弥生土器の中でも「甕」と呼ばれる器形でよく見られます。火が当たる部分が黒くなるため、土器を一周するように帯状の黒い跡が残ることがあります。

このように、土器の表面を観察することで、弥生時代の土器の作り方や煮炊きの様子など、人々の生活を知ることができるのです。



黒斑



火が当たった痕跡

朝日遺跡出土土器(上:壺、下:S字状口縁台付甕)

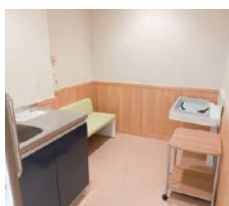


インクルーシブなミュージアムをめざして...

テーマ:誰もが楽しみながら知識を得られる博物館

※「インクルーシブ(inclusive)」は、「包摂(ほうせつ)的な」「包括的な」「すべてを包み込む」を意味することばです。

当館は、小さなお子様連れの方にも気兼ねなく訪れていただける博物館です。授乳室や多目的トイレを設置しています。館内および史跡内はベビーカーで移動できるバリアフリー構造になっています。本館受付にてベビーカーの無料貸し出しも行っています。お子様と、屋外史跡エリアでお花摘みやどんぐり拾い、レジャーシートを広げてのピクニックはいかがでしょう。観覧券のご提示があれば、展示室への再入場が可能です。



オリジナルノート／180円



以前、子ども向けのイベントの参加賞としてオリジナルノートをつくったところ好評だったため、ミュージアムグッズとして商品化しました。無地でスケッチにも対応しています。大人の方もどうぞ。



セットでまわると理解が深まる＆お得打ち!

共通券がお得です

清洲城の歴史、または古墳時代など連携施設とセットで巡れば学びも2倍。年パスもオススメ!

Common admission ticket

2025.04~

清洲城

一般 550円



織田信長の居城として有名な、清洲城。歴史好きな方は清須の史跡として朝日遺跡と清洲城をセットで巡るのもオススメです。

☎052-409-7330
愛知県清須市朝日城屋敷1-1

体感!しだみ古墳群ミュージアム 一般 400円 / 高大 300円



国史跡・志段味古墳群を紹介するミュージアム。この地域の歴史を学ぶなら朝日遺跡とセットで古墳時代の史跡もめぐってみよう。

☎052-739-0520
名古屋守山区大字上志段味字前山1367

あいち朝日遺跡ミュージアム

年間パスポート

講演会やイベント等で当館に何度も来館されるならかなりお得です!

一般 1,000円 / 高大 600円

希望者には、おしらせメールも配信しています。さらに高大生は年パスキャンペーンを実施中!



あいち朝日遺跡ミュージアムで取り扱うミュージアムグッズのうち図録や常設展示案内の一部はインターネットで購入することができます。考古学・歴史専門書店「六書房」の公式WEBサイト(<https://www.book61.co.jp/>)をご覧ください。

ここから企画が実現する?! スタッフによる 弥生ムラぐらし 進行中

作業の様子を
ご覧いただけます!



弥生人の生活を想像して、いろいろなことにスタッフが挑戦する企画。うまくいけばみんなと一緒に楽しめる企画として実現するかも?!皆さんが知って
る弥生体験、情報提供もお待ちしております。

1 タデアイの発芽

ミュージアムで栽培しているタデアイ。今年も種を蒔きました。なんと、今年はたくさん芽が出てすくすく育っています!近年酷暑が続く、水を好むタデアイを育てるのには一苦労……。水やりの方法も毎年模索しています。今年も厳しい夏になりそうです。どうか健康に育ってくれますように!



発芽したタデアイ

2 稲の育苗

ミュージアムの体験水田でみなさまと一緒に育てていく稲の育苗を行っています。今年は例年とは違う方法での育苗も少し挑戦!稲わらを束ねた状態で育苗してみました。上手く発芽するのか心配しながら見守っていましたが、なんと可愛い芽が!上手く発芽すればこの稲たちも田植えの仲間入りができそうです!



束ねて育苗した稲(全景)



種籾から芽が出ている様子(近景)

みんなの こえ



来館者の皆さまからたくさんのご意見、ご感想、よろこびの声をいただいています。その一部を紹介します。

SNSでたくさん情報が得られてよかったです。記念にトートバッグと土器サブレを買いました。(福岡県・女性)



清洲城から歩いて来ましたが、歩道が黄色く塗ってあるのわかりやすくすぐ良いアイデアですね!(愛知県・女性)



西区在住でこんなに近くに有名な遺跡があるとは知らず、遠くの遺跡にばかり行っていました。(名古屋市・男性)



ハイアロクラスタイトは青川まで行って見たことがあります。ここは触れていいですね。また来ます(三重県・男性)



弥生の御朱印巡りで知って来ました。宿泊して明日は尾張のお城巡りをたのしみにしています(神奈川県・男性)



今回ウォーキングイベントのコースで立ち寄って初めて観覧しました。いいミュージアムですね。(愛知県・女性)



一宮市の萩原に住んでいます。遺跡について知らなかったのが、初めて来ました。勉強になります。(愛知県・男性)



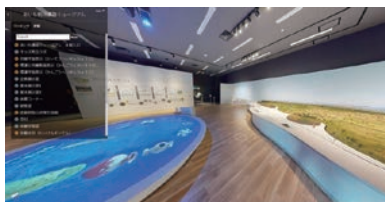
オープンから知っていたけどやっと来館できました。いろいろな体験ができて楽しいですね。(愛知県・男性)



あいち朝日遺跡ミュージアムの情報は 公式WEBサイトやSNSをご覧ください! 随時発信中です。

公式WEBサイト

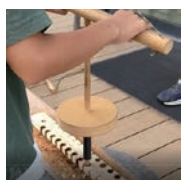
<https://aichi-asahi.jp/>



企画展やイベントの開催概要、講演会・講座の申し込み、学校・団体観覧の事前申込、バーチャルオンラインツアーなどもご覧いただけます。



受付中の講演会・講座の応募、団体申込も公式WEBサイトからなら好きなタイミングで応募ができて便利。



月替わりの古代体験プログラムのメニューや、イベント告知などもチェックしてみてください。

SNS(X,instagram,Facebook等)



ミュージアムからのおしらせ、日々のつぶやきを投稿しています。フォローよろしくおねがいします。

<https://x.com/AichiAsahiSite>



写真映える情報を中心に投稿しています。1日限りのショート動画などもお見逃しなく。

<https://www.instagram.com/aichi-asahisite/>



ミュージアムの稲の育苗は、消毒・腐敗防止のため、育苗箱に入れる前に、約60度の湯に30分間浸けています。まるで、冬の間乾燥した状態で眠っている種籾に「起きる時間だよ!」と教えているようですね。